

地域振興部

1 定住促進事業 7-1

(1) 定住促進定期券購入費助成事業

市外への転出を抑制するとともに、佐賀市への転入を促進するため、特急列車又は高速バスを利用して市外通勤する者に、通勤のための定期券購入費用（特急料金等）の一部を補助する。

◎ 交付実績

	交付件数	うち新規件数
令和元年度	99 件	50 件
平成 30 年度	94 件	35 件
平成 29 年度	99 件	53 件
平成 28 年度	67 件	45 件
平成 27 年度	26 件	26 件

※ 平成 27 年 4 月 1 日の基準日以降において、大学・高等学校等を卒業後 2 年以内に就労した者及び市内への転入者のうち本人又は配偶者が転入日において 40 歳未満の者を助成対象とし、月額 10,000 円（令和元年度以前に初回の申請をした者は、15,000 円）、36 か月を助成限度とする。

(2) 定住情報発信事業

佐賀市への移住者の増加を図るため、首都圏や福岡都市圏等の移住希望者を対象に、移住フェア等への出展及び移住パンフレットの配布等により定住情報を発信する。

2 まちづくり自治基本条例 6-1

(1) まちづくり自治基本条例推進事業

市民等が主体のまちづくりを進めるためのルールとなる「佐賀市まちづくり自治基本条例」の市民への周知啓発のため作成した、パンフレットやDVDを活用し、出前講座等を開催。また職員を対象とした研修や庁内における協働事業調査も実施した。

① 令和元年度啓発実績

ア 市民等への周知

i 出前講座、講演等

市民向け啓発講座：5回（362名）

事業者向け啓発講座：1回（59名）

ii 小中学校児童生徒へのマンガ版パンフレット配布

市内小学校3年生全児童へマンガ版パンフレットを配布（小学4年生から中学3年生までの児童生徒は平成30年度までに配布済み）。協働啓発DVDと合わせて、授業等での活用を図った。

iii 事業者向け労政だよりへの記事掲載

実施回数：2回（9月、1月）

イ 職員研修

実施回数：3回（副課長級職員、新規採用職員）

別途、まちづくり自治基本条例周知強化週間を設定し、条例のポイントを全職員に周知した。（8月、2月）

② 庁内に対する協働事業の実態調査

全庁に対してのアンケートを実施〔平成30年度協働事業実績 205事業〕

3 地域コミュニティ推進事業 6-1

(1) 地域コミュニティ推進事業

① 設立状況

平成 26 年度に決定した、まちづくり協議会を全校区に拡大する方針に基づき、まちづくり協議会の運営支援及び設立支援を行うことにより、住民自身による地域活性化及び地域課題解決に向けた取り組みを進めた。令和元年度末現在、30 校区でまちづくり協議会が設立されている。

また、多様な主体が自らの役割や連携のあり方について認識を深めるとともに、今後の事業の広がりや協働の可能性を見出し、実践につなげるため、出会い交流することを目的として、「佐賀市地域づくり交流会」を開催するとともに、地域コミュニティサイト「つながるさがし」の運営を行った。

4 市民活動推進 6-1

(1) 市民活動推進事業

① 情報の提供

市民と行政との協働を行っていくために、市民と情報を共有する。同様に、市民活動団体の情報を把握・整理し発信する。

市報や市ホームページによる広報及び各種の広報媒体による情報提供。

② 協働推進窓口

佐賀市まちづくり自治基本条例や協働指針の全庁的な理解を深め、市民等との「協働」による社会や地域の課題解決の取り組みを進める全庁的な体制を構築するため、佐賀市の全部署（学校・公民館を除く）に協働推進窓口を設置し、窓口担当者として協働推進員を配置している。

(2) 市民活動補償制度

市民活動を実践する活動者等が市民活動中に怪我をした場合や死亡した場合、あるいは活動の参加者等に損害を与えた場合などに補償を行う。

① 市民活動補償制度の特徴

ア 市内に活動拠点を置く市民活動団体の年間を通じて計画的・継続的に実施し、広く公共の利益を目的とした市内における自発的な無報酬の活動が対象。

イ 補償対象となる人は指導者や活動者、活動を伴う参加者で、単なる観覧者や活動を伴わない参加者などは除く。

ウ 保険料は市が全額負担。

エ 申し込みや事前登録手続きは不要。

オ スポーツ活動や、活動地と自宅等の往復途上時の事故などは対象に含まない。

② 令和元年度事故受付件数

傷害事故 24 件、賠償責任事故 1 件

(3) 市民活動拠点運営事業（市民活動プラザ）

① 市民活動プラザ設置の趣旨

佐賀市の市民活動の拠点施設として、多様な市民活動を育成及び支援すること、市民活動に関する情報の収集及び提供に関することを目的として設置した。運営管理については特定非営利活動法人佐賀県 CSO 推進機構を指定管理者とし、市民組織主体の施設運営と市民活動支援を行っている。

② 貸出施設の利用案内

ア 申し込み 使用日の属する月の 4 カ月前の月の初日からインターネットか市民活動プラザ窓口で受付

イ 休館日 年末年始（12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで）

ウ 利用時間 午前 9 時から午後 10 時まで

③ 会議室等の利用料金について

ア 会議室

種 類	数	単位	利用料金
大会議室 (36 人程度)	1	1 時間	2,500 円 (500 円)
中会議室 (18 人程度)	3	1 時間	1,500 円 (300 円)
小会議室 (12 人程度)	3	1 時間	1,000 円 (200 円)

※ 利用料金欄の () は市民活動目的利用の場合

イ その他の設備

種 類	数		利用料金
活動共同スペース	6 ブース		月 5,000 円
ロッカー	大	5 個	月 500 円
	中	42 個	月 300 円
	小	48 個	月 200 円
レターケース	264 団体分		無 料

※ 活動共同スペース、ロッカーの年間利用料金を 4 月に前納すると、9 割の金額

ウ コピー機

種 類	内 容	利 用 料 金	
コピー機	白黒	A4・B5	5 円／1 枚
		A3・B4	10 円／1 枚
	カラー	A4・B5	30 円／1 枚
		A3・B4	50 円／1 枚

エ 印刷機 (用紙持参)

種 類	内 容	利 用 料 金
印刷機	製版	50 円／1 枚
	印刷	1 円／1 枚 (0.5 円／1 枚)

※ () は市民活動利用登録団体の場合

オ 市民活動プラザの利用状況

項 目	平成 30 年度実績	令和元年度実績
来場者数	65,885 人	60,267 人
会議室利用率	49.9%	46.2%
利用登録団体数	483 団体	517 団体
レターケース利用団体	102 団体	114 団体
相談支援件数	181 件	155 件
情報収集・発信件数	5,205 件	5,485 件

(4) 市民活動プラザにおける市民活動支援のための事業

市民活動プラザや市民活動について広く一般市民に向けて発信し、施設の利用促進や市民活動に対する関心を高め、佐賀市の市民活動の裾野を広げ活性化につなげることを目的とし、

事業を実施する。

事業名：さがんなかまつり

令和元年度実績

① 受託団体 特定非営利活動法人 空家・空地活用サポート S A G A

② 実施回数 1 回、参加者数（延べ）：1,940 人

(5) 佐賀市市民活動応援制度「チカラット」

市民活動団体の活動基盤の強化を図り、市民のまちづくりへの参加と実践をすすめるために、市民活動団体が行う公益的な事業に対して補助金を交付する。

令和元年度実績

① 補助率、補助限度額

ちかっと部門 補助対象経費の 2/3 以内、上限 100,000 円

※総事業費 150,000 円以下の事業対象

カラット部門 補助対象経費の 2/3 以内、上限 300,000 円

② 交付実績

交付事業 16 事業（団体）

（ちかっと部門：9 事業、カラット部門：7 事業）

交付確定額 2,686,332 円

（ちかっと部門：751,072 円、カラット部門：1,935,260 円）

5 公民館・農村環境改善センター 5 - 4

(1) 施設の整備・運営

① 施設の設置状況

種 類	該 当 施 設	運 営 形 態
公民館 (32 館)	勸興、循誘、日新、赤松、神野、西与賀、嘉瀬、巨勢、兵庫、高木瀬、北川副、本庄、鍋島、金立、久保泉、蓮池、新栄、若楠、開成、諸富町、春日、春日北、川上、松梅、富士、三瀬、南川副、西川副、中川副、大詫間、東与賀、久保田	直営
農村環境改善センター (2 施設)	東与賀、久保田	直営

② 施設の管理運営

公民館（農村環境改善センター含む）の管理運営を行い、地域の拠点として、親しみやすく利便性の高い施設となるよう必要な整備を進め、市民が集い、学び、つながる場としての機能向上を図る。

(2) 生活体験型合宿の実施

異年齢の子どもたちが、公民館等で寝食を共にし、食事の準備や後片付けなどの生活体験型学習を行う。

これにより子どもたちには自立心や協調性を身につけることを、また、地域住民の方々には地域の子どもは地域で育てるという機運の醸成を目指す。

令和元年度実績	実 施 校 区	23 校区
	参加児童数	426 人
	支 援 者 数（延べ人数）	1,689 人

6 誰もが親しめる市民スポーツの充実 5-5

(1) 生涯スポーツの推進

① スポーツ教室開催補助事業

スポーツや運動が、より身近なものとして広く浸透するために、スポーツをやりたいと思っている市民に対し、そのきっかけづくりとして各種団体に補助金を交付し、初心者向けスポーツ教室の開催を促す。

○令和元年度実績（各種目団体等への教室開催補助）

教 室 名	回 数	参加者数
卓球（初心者・ラージボール）教室（5月～8月）	10回	41人
ジュニアテニス教室（9月～11月）	10回	23人
コア・コンディショニング教室（2～3月）	6回	26人
かけっこ教室（3月）	1回	45人

② スポーツ少年団育成事業

スポーツ少年団は日本最大の青少年スポーツ団体で、小学生を中心に、中学生、高校生まで加入できる。

佐賀市スポーツ少年団に対し補助を行うとともに、事務局として団の運営を支援し、少年団の普及と育成及び活動の活性化を図り、青少年の健全な育成に資する。

○佐賀市スポーツ少年団状況（令和元年度実績）

登録状況	登録団 51 団 ・ 団員 888 人 ・ 指導者 149 人
主な活動	市スポーツ少年団大会（7.9.10月） 8 種目 48 チーム 889 人 親子シッパス交流大会（12月）14 チーム 118 人

③ ニュースポーツ推進事業

年齢や性別、体力、障がいの有無に関わらず、だれもが気軽に楽しめるニュースポーツの特長を活かし、地域スポーツの普及促進の手段の一つとして、ニュースポーツ用具の整備、貸出等を行うとともに、佐賀市スポーツ推進委員と連携を図りながら各地区で出前講座等を行い、ニュースポーツの指導・普及に努める。

職員出前講座	参加者数	種 目
小・中学生を対象に開催(3回)	352 人	いごてだま、アトラックゲーム、 公式ワナゲ、ワンバウンドふらばーボールバレーなど
公民館等で高齢者を対象に開催 (11回)	218 人	いごてだま、スカットボール、 ビーンボウリング、スポーツウエルネス 吹き矢など

④ 総合型地域スポーツクラブ支援事業

総合型地域スポーツクラブとは、多世代、多種目、多志向の3つの多様性を柱とする、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブのこと。

「佐賀市総合型地域スポーツクラブ連絡会」において、総合型クラブ間の情報交換や交流の機会等を設け、各クラブの自立の促進を図った。

⑤ スポーツ推進委員協議会活動推進事業

スポーツ推進委員相互の連絡連携を密にするとともに、スポーツ推進委員の資質の向上と地域での実技指導等の活動を円滑にするため、市はスポーツ推進委員協議会の活動に対し補助等の支援を行う。協議会は、自主的活動、自主的運営の体制づくりを確立するため、理事会、総務委員会、研修委員会、事業委員会の各専門委員会を定期的開催、各委員会等での協議・研修をふまえて市民スポーツの推進のための各種活動を行う。

○スポーツ推進委員数 112 人

○各種会議等（理事会、総務委員会、研修委員会、事業委員会）

○研修会（定例研修会、女性委員研修会）

○自主活動（佐賀市まなざしスポレク祭、佐賀市研究大会の開催、佐賀県実技研修会、佐賀県研究大会、九州地区研究大会、全国研究大会への参加）

○バルーンフェスタ、さが桜マラソン、市障がい者体育大会への支援

○市老人クラブ連合会ニュースポーツ講習

⑥ スポーツ推進審議会

本市のスポーツ行政に反映させるため、審議会を開催し佐賀市のスポーツ推進に関し、スポーツに造詣の深い方々に専門的立場から調査、審議、建議していただく。

○佐賀市スポーツ推進審議会委員 15 人

○スポーツ推進審議会の開催 4 回

⑦ さが桜マラソン大会開催事業

佐賀新聞社、佐賀陸上競技協会、佐賀県、佐賀市、神埼市の五者で、平成 25 年度よりフルマラソンとして生まれ変わった「さが桜マラソン」を開催する。沿線の住民及び事業所に対して十分な周知・協力依頼を行い、広報等による市民の機運醸成、ボランティアの確保・管理や、参加者及び来訪者の心に残る大会とするためのおもてなしを行う。

○さが桜マラソン 2020 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止

(2) 競技スポーツの推進

① 佐賀市体育協会との連携事業

公益財団法人佐賀市体育協会（市体協）は、地区体育協会の育成、競技種目協会等の育成、選手の強化、大会の開催などの事業を通し、市民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図り、市民の健全な心身の発展に取り組む団体である。市体協に補助金を交付することにより、市体協と連携して佐賀市の体育・スポーツの健全な普及・発展を推進する。

○令和元年度加盟団体 地区 29 種目等 35

○主な事業 ・各種大会選手派遣費補助（62 件）・各種スポーツ教室開催（14 教室）
・各種スポーツ大会開催（2 大会）

② 市民体育大会開催事業

市民のスポーツに参加する意欲と関心を盛り上げ、スポーツが生活の中に密着し、健康で明るい郷土づくりに寄与するため、市民スポーツの祭典として開催する。

市内各会場において競技を行い（競技によっては県体予選を兼ねる）、小学校区及び地区対抗で得点を競う。

○市民体育大会（7 月）

・19 競技 31 種別を実施 ・参加者 約 6,000 人

③ 校区対抗駅伝大会開催事業

市が主催し、市体協の協力を得て各地区体協への参加を募り大会を運営する。駅伝競走に親しむことにより、健康と体力の維持・増進を図り、各地区対抗での順位を競う。

また、市民のスポーツへの関心を喚起させるため、開催についての情報を提供し、見てもらうことによりスポーツに対する関心を高める。

佐賀市千潟よか公園周辺において、6 区間、23.3 kmで開催。

○令和元年度校区対抗駅伝大会（1 月）30 チーム 309 人参加。

④ 県民スポーツ大会への参加

県民スポーツ大会に参加することにより、競技力向上を図る。また、市民のスポーツへの関心を喚起させるため、開催についての情報を提供し、見てもらうことによりスポーツに対する関心を高める。

開催地は、県内を 4 ブロックに分け、持ち回りで開催。

10 月第 3 土曜日・日曜日、20 競技 33 種目で開催。

○令和元年度 第 72 回県民スポーツ大会 ※22 年連続 59 回目の優勝

・19 競技 33 種目に参加 ・監督、選手数 481 人 ・役員数 51 人

⑤ 県内一周駅伝大会への参加

県内一周駅伝大会に参加することにより、競技力向上を図る。また、市民のスポーツへの関心を喚起させるため、開催についての情報を提供し、見てもらうことによりスポーツに対する関心を高める。

佐賀県陸上競技中・長距離界のレベルアップと底辺拡大、さらに県民の体力づくりと融和を図ることを目的とし、郡市対抗による、3 日間、全 33 区間、km で開催。

○第 60 回郡市対抗県内一周駅伝大会 令和 2 年 2 月 14 日～16 日（3 日間）

佐賀市成績 第 2 位（出場 13 チーム）

⑥ 各種スポーツ大会開催補助事業

スポーツの競技大会は、参加する競技者にとって日ごろの練習の成果を発揮する場であると同時に、市民にとってはアスリートの姿を目にすることができる絶好の機会となり、競技力の向上や競技人口の増加等にもつながる。生涯スポーツ、競技スポーツどちらにおいても推進を図っていくために必要な支援で、スポーツ大会開催団体へ補助金を交付し、大会の円滑な運営を図る。補助を通して、より充実した大会が開催されることにより、スポーツへの参加を促し、周知啓発に資する。

○令和元年度実績

大 会 名	参加者数
土井旗・土井杯争奪思斉館柔剣道大会（4・5 月）	311 人
むつごろう CUP 車椅子バスケットボール大会（6 月）	204 人
佐賀県北部連合尚武会演武大会（9 月）	117 人
三瀬旗少年剣道大会（9 月）	404 人
ムツゴロウ杯卓球バレー交流大会（7 月）	131 人
富士しゃくなげ湖ハーフマラソン大会（11 月）	1,112 人

⑦ スポーツ拠点づくり推進事業

東アジア随一の天然芝コートを有する「グラスコート佐賀テニスクラブ」で、全国各地から選抜されたジュニアテニスのトップ選手を対象としたトレーニングキャンプ開催を支援することにより、東京オリンピック、佐賀国体で活躍する選手の育成を図る。

キャンプでは、テニスの指導やトレーニング、ルール、栄養指導が行われるほか、一般向けに「公開講座（無料）」を開催。子どもたちや市民が、ジュニアのトップレベルのプレーを観戦することにより、テニスの技術の向上、スポーツに対する関心を高める。

○令和元年度実績

第5回グラスホパージュニアテニスキャンプ（8月）

参加選手 132 人 短期体験キャンプ参加選手 9 人 ・公開講座 2 講座

⑧ スポーツ合宿推進事業

市内に宿泊し合宿を行うアマチュアスポーツ団体に、宿泊費を補助する。

また、佐賀市スポーツキャンプ誘致・交流推進協議会で国内外のトップレベルチーム等の合宿・キャンプの受入を行い、練習環境の整備や選手と市民の交流事業を実施するほか、各種団体への誘致活動や合宿・キャンプ受入にかかるおもてなし力向上に取り組む。

○令和元年度実績

補助金交付団体（7 団体）	延べ宿泊数 970 泊
代表・プロチーム等キャンプ（1 団体）	和歌山ファイティングバーズ

○佐賀市スポーツキャンプ誘致・交流推進協議会の活動

・誘致プロモーション事業

合宿誘致営業 プロ野球独立リーグ球団 1 チーム、大学硬式野球部 1 チーム
ホストタウン登録にかかるフィンランド大使館での意見交換会

・合宿・キャンプ等の受入時の交流

海外代表チーム合宿受入時の交流事業対応 2 か国 4 件
合宿の受入 プロ野球独立リーグ球団の合宿対応（2 月）

・おもてなし力向上の取り組み

学校給食でのニュージーランド料理提供事前学習会（7 月）
学校給食でのニュージーランド料理提供と文化理解講座（9 月）1 校

・合宿・キャンプ誘致・受け入れのための情報収集・発信

東京 2020 大会事前合宿実施周知懸垂幕制作

⑨ スポーツ指導者育成事業

ジュニア期は生涯を通じてスポーツと関わる習慣を身につける重要な準備期であることから、勝利至上主義を見直し、スポーツのあり方や適正な指導方法を指導者、保護者に啓発する必要がある。

少年スポーツ指導者や保護者に対して、ジュニア期におけるスポーツのあり方等についての講演会や研修会を開催し、指導に関する最新の情報を習得し、少年スポーツ指導における正しい指導法確立を支援する。

○令和元年度実績

講演会・研修会名	内 容
第1回少年スポーツ指導者研修会『スポーツ医学【外科】』 令和元年7月18日 ・参加者 27人	・「少年スポーツ概論」 ・「スポーツによる外科的傷害 ～スポーツの場面での救急処置の基本～」

⑩ 第78回国民スポーツ大会・第23回全国障害者スポーツ大会開催準備

2023年に本市で開催予定である国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会において、第78回国民スポーツ大会佐賀市準備委員会を設立し、競技運営を円滑に行うための必要な準備を行う。

○第78回国民スポーツ大会佐賀市準備委員会の活動

- ・準備委員会設立総会・第1回総会（6月）、第1回常任委員会（8月）、
- ・第1回総務企画、競技式典、宿泊衛生、輸送交通専門委員会（2月）

(3) スポーツ施設の整備と活用

① スポーツ施設の整備

市民が日常生活の中で、いつでも気軽にスポーツ施設を利用できるよう、施設の環境整備を進める。

② スポーツ施設の管理・運営

市民が、快適にスポーツや運動に親しむことができるように、利用者の視点に立ったサービスや利便性の向上に努めるとともに、利用者が安全かつ公平に利用できるよう適正な管理・運営を行う。

また、指定管理者制度の導入を図り、民間の能力を活用した住民サービスの向上と施設の効果的な運営に努める。

③ 施設のネットワーク化及び情報提供

市民がインターネットを活用してパソコンや携帯電話から体育施設の空き状況の確認や利用申込等ができる「公共施設予約システム」を運用し、身近なスポーツ施設の情報を発信している。

④ 学校体育施設の開放

市民のもっとも身近にある学校体育施設を有効活用し、スポーツ活動や地域のふれあいの場として、学校教育に支障のない範囲で一般に開放する。佐賀市内の52校において、学校体育施設開放運営委員会により管理を行っている。

また、市内の小学校10校のグラウンド及び中学校1校のテニスコートに夜間照明施設を設置し、利便性向上に努めている。

○ 体育施設一覧

名 称		施 設 の 概 要
体育館	佐賀勤労者体育センター	アリーナ35m×31m バレーボール・バスケットボール2面(ミニバスケット対応可)、バドミントン8面、フットサル、卓球台14台、2階:軽スポーツ、卓球台2台
	市立体育館	アリーナ33m×37m バレーボール・バスケットボール2面(ミニバスケット対応可)、バドミントン8面、トレーニング室、卓球台21台
	諸富文化体育館	アリーナ42m×34m バレーボール・バスケットボール2面、バドミントン6面、ミニテニス6面、トレーニング室、ステージ 座席数1, 294席、卓球台21台
	大和勤労者体育センター	アリーナ30m×35m バレーボール・バスケットボール2面、バドミントン6面、2階:卓球台5台
	三瀬勤労福祉センター	バレーボール2面、バドミントン3面、フットサル、剣道4面、卓球台5台
	スポーツパーク川副体育センター	アリーナ42m×28m バレーボール3面、バスケットボール2面、バドミントン6面、フットサル、卓球台18台
野球場	市立野球場	両翼93m、中堅120m 磁気反転式スコアボード 屋内ブルペン
グラウンド	市民運動広場	野球1面、ソフトボール1面、サッカー1面 夜間照明
	西神野運動広場	ソフトボール1面、少年野球1面、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ
	嘉瀬川河川敷北グラウンド	野球4面
	諸富公園多目的広場	野球1面、ソフトボール2面、サッカー1面 夜間照明(4月～10月)
	大和中央公園自由広場	野球2面、ソフトボール4面 夜間照明
	春日運動広場	野球1面、少年野球2面、ソフトボール2面、グラウンド・ゴルフ
	富士運動広場	野球1面、ソフトボール1面 夜間照明
	三瀬グラウンド	野球1面、ソフトボール2面 夜間照明
	スポーツパーク川副多目的広場	野球2面、ソフトボール4面、サッカー2面 夜間照明
	川副運動広場	野球1面、ソフトボール1面、グラウンドゴルフ
	東与賀運動公園運動広場	野球1面、ソフトボール1面 夜間照明
	久保田グラウンド	野球1面、ソフトボール1面 夜間照明
	久保田補助グラウンド	サッカー、グラウンドゴルフ、陸上競技等
	健康運動センター多目的グラウンド	野球2面、ソフトボール4面、サッカー2面 夜間照明
	健康運動センターサッカー・ラグビー場	人工芝グラウンド1面(夜間照明)、天然芝グラウンド1面、管理棟(更衣室等)
テニスコート	市立テニスコート	砂入り人工芝コート8面 夜間照明
	諸富公園テニスコート	クレーテニスコート2面
	大和中央公園テニスコート	全天候型ハードコート2面(夜間照明)、クレーテニスコート2面
	春日運動広場多目的コート	クレーテニスコート4面
	東与賀運動公園テニスコート	人工芝テニスコート2面・クレーテニスコート2面(夜間照明) ゲートボール場4面
武道館等	市立弓道場	近的射場10人立、遠的射場6人立
	諸富文化体育館多目的室	柔道1面
	スポーツパーク川副武道館	剣道場2面、柔道場2面、弓道場近的射場3人立
	富士運動広場屋内練習場	剣道1面、卓球台4台
	スポーツパーク川副トレーニングハウス	バラエティールーム、トレーニングルーム、ミーティングルーム
	東与賀運動公園スポーツルーム	第1体育室、第2体育室 卓球台5台
相撲場	富士運動広場相撲場	屋根付き相撲場
プール	三瀬プール	25m 5コース(内1コース徒歩用)
	スポーツパーク川副市民プール	50m 8コース
	健康運動センター健康運動館(温水プール等)	メインプール(25m 7コース)、可動床・流水プール、こども用プール、ジャグジー、スタジオ、トレーニングルーム、浴室、多目的室

○ 体育施設別利用状況

	施 設 名	区 分	平成30年度			令和元年度		
			件数	人数	計	件数	人数	計
体 育 館	佐賀勤労者体育センター	個人利用	2,660	4,738	53,114	2,660	4,337	52,687
		団体利用	3,200	48,376		3,146	48,350	
	市立体育館	個人利用	1,611	11,453	69,578	4,709	10,907	63,320
		団体利用	2,689	58,125		2,348	52,413	
	諸富文化体育館	個人利用	0	0	59,147	0	0	50,008
		団体利用	1,860	59,147		1,892	50,008	
	大和勤労者体育センター	個人利用	3,632	5,702	39,351	3,532	5,096	44,263
		団体利用	2,072	33,649		2,017	39,167	
三瀬勤労福祉センター	個人利用	113	765	6,869	82	1,008	5,824	
	団体利用	260	6,104		183	4,816		
スポーツパーク川副体育センター	個人利用	0	0	24,732	0	0	24,784	
	団体利用	1,895	24,732		2,210	24,784		
	施 設 名	区 分	平成30年度			令和元年度		
			件数	人数	計	件数	人数	計
グ ラ ウ ン ド	市立野球場	一般	63	4,817	11,422	60	4,608	11,438
		高校生以下	91	6,605		89	6,830	
	市民運動広場	野球	7	132	31,644	25	328	32,427
		ソフトボール	51	1,294		65	1,601	
		その他	601	30,218		556	30,498	
	西神野運動広場	野球	46	2,495	18,499	51	1,179	15,673
		ソフトボール	35	2,468		29	1,347	
		その他	226	13,536		198	13,147	
	嘉瀬川河川敷北グラウンド	野球	527	1,321	1,485	421	1,384	1,528
		ソフトボール	2	20		6	59	
		その他	135	144		85	85	
	諸富公園多目的広場	野球	65	1,191	26,865	72	1,349	24,641
		ソフトボール	101	2,184		104	2,736	
		その他	350	23,490		304	20,556	
	スポーツパーク川副多目的広場	野球	176	6,243	34,770	138	5,667	35,965
		ソフトボール	77	5,222		76	7,835	
		その他	619	23,305		700	22,463	
	川副運動広場	野球	209	16,902	23,866	184	18,770	28,915
		ソフトボール	0	0		0	0	
		その他	204	6,964		311	10,145	
	大和中央公園自由広場	野球	404	12,911	27,155	412	11,344	21,900
		ソフトボール	105	6,762		69	4,655	
		その他	76	7,482		76	5,901	
	春日運動広場	野球	343	6,609	13,917	321	6,404	11,538
		ソフトボール	24	1,602		35	536	
		その他	360	5,706		346	4,598	
	富士運動広場	野球	85	1,545	3,285	109	2,385	6,806
		ソフトボール	3	150		4	160	
		その他	34	1,590		42	4,261	
	富士山村広場	野球	51	2,550	2,750	19	910	910
ソフトボール		1	50	0		0		
その他		3	150	0		0		
三瀬グラウンド	野球	72	3,698	7,470	76	3,550	10,394	
	ソフトボール	2	66		3	92		
	その他	51	3,706		72	6,752		
東与賀運動公園運動広場	野球	420	11,017	22,019	485	11,413	21,117	
	ソフトボール	44	1,091		53	848		
	その他	283	9,911		293	8,856		
久保田グラウンド	野球	147	5,237	16,924	5	1,200	13,335	
	ソフトボール	18	649		2	360		
	その他	321	11,038		321	11,775		

テ ニ ス コ ー ト	施 設 名	区 分	平成30年度			令和元年度		
			件数	人数	計	件数	人数	計
二 ス コ ー ト	市立テニスコート	個人利用	14,178	37,366	50,564	14,216	37,234	48,680
		団体利用	197	13,198		226	11,446	
	諸富公園テニスコート	個人利用	513	3,318	3,318	458	3,499	3,499
		団体利用	0	0		0	0	
	大和中央公園テニスコート	個人利用	2,733	4,279	11,197	2,129	4,160	10,511
		団体利用	552	6,918		622	6,351	
	春日運動広場テニスコート	個人利用	0	0	20,137	0	0	15,841
		団体利用	826	20,137		728	15,841	
東与賀運動公園テニスコート	個人利用	0	0	7,129	0	0	5,913	
	団体利用	1,467	7,129		1,312	5,913		
武 道 館	施 設 名	区 分	平成30年度			令和元年度		
			件数	人数	計	件数	人数	計
	市立弓道場	個人利用	3,075	3,075	7,351	5,441	5,441	9,946
		団体利用	232	4,276		201	4,505	
	諸富文化体育館多目的室	個人利用	0	0	3,815	0	0	3,992
		団体利用	283	3,815		283	3,992	
	スポーツパーク川副武道館	個人利用	428	428	9,392	386	389	8,458
		団体利用	1,672	8,964		1,595	8,069	
	富士運動広場屋内練習場	個人利用	0	0	873	0	0	415
		団体利用	40	873		16	415	
	スポーツパーク川副トレーニングハウス	ハラエティールーム	393	7,314	7,934	317	6,865	7,573
		ミーティングルーム	42	620		52	708	
	東与賀運動公園スポーツルーム	個人利用	0	0	6,172	0	0	4,985
		団体利用	567	6,172		512	4,985	
	市立体育館トレーニング室	個人利用	11,879	11,879	11,879	11,601	11,601	11,601
	諸富文化体育館トレーニング室	個人利用	6,433	6,433	6,433	5,059	5,059	5,059
	スポーツパーク川副トレーニングルーム	個人利用	3,884	3,884	3,884	3,445	3,445	3,445
	三瀬プール	個人利用	893	893	2,801	575	575	1,835
団体利用		137	1,908	105		1,260		
スポーツパーク川副市民プール	個人利用	206	206	1,316	285	308	1,882	
	団体利用	37	1,110		43	1,574		

7 佐賀市健康運動センター 3-4

(1) 施設の設置

佐賀市では、運動を中心とした活動や交流を通じて、市民の健康増進及びスポーツの推進に寄与するため、佐賀市健康運動センターを設置している。

(2) 施設の概要

- ① 所在地 佐賀市高木瀬町大字長瀬 2553 番地 (Tel 36-9309)
- ② 敷地面積 97,517.70 m² (サッカー・ラグビー場 37,546.25 m²を含む)
- ③ 延床面積 5,201.01 m²
 - ※ 健康運動館 4,769.23 m² (1階 4,529.18 m²、地下 240.05 m²)
 - ※ サッカー・ラグビー場管理棟 431.78 m²
- ④ 総事業費 『健康運動館・多目的グラウンド』 27 億 9500 万円 (用地費含む)
(地域総合整備事業債〈ふるさとづくり事業〉)
『サッカー・ラグビー場』 10 億 4100 万円 (用地費含む)
(緊急防災・減災事業債等)
- ⑤ 施設内容 『健康運動館』
温水プール (25m、可動床、子ども用、ジャグジー)、トレーニングルーム (各種トレーニング機器有)、スタジオ、入浴施設、更衣室、管理室、多目的室
『多目的グラウンド』
グラウンド (夜間照明設置)、ウォーキングコース (2 コース)
『サッカー・ラグビー場』
天然芝グラウンド 1 面、人工芝グラウンド 1 面 (夜間照明設置)、管理棟 (ミーティング室、シャワー室有)
『駐車場』
健康運動館南側駐車場 (203 台: 多目的駐車場 8 台を含む)
サッカー・ラグビー場駐車場 (334 台: 多目的駐車場 4 台を含む)
サッカー・ラグビー場第 2 駐車場 (210 台: 多目的駐車場 5 台を含む)
- ⑥ 竣 工 平成 16 年 5 月 10 日 (建設期間 平成 13~15 年度の継続事業)
※ サッカー・ラグビー場は、平成 26 年 3 月 31 日 (平成 24~25 年度の継続事業)
- ⑦ 供 用 日 平成 16 年 5 月 11 日
※ サッカー・ラグビー場は、平成 26 年 4 月 5 日
- ⑧ 特 徴 敷地北西側に位置する佐賀市環境センター (焼却炉) の余熱利用施設
※ サッカー・ラグビー場を除く

(3) 利用時間

午前 9 時から午後 9 時まで (平日有料エリアは午後 9 時 30 分まで延長)

- ① 多目的グラウンド 4 月 1 日~10 月 31 日 午前 6 時から午後 9 時まで
11 月 1 日~ 3 月 31 日 午前 7 時から午後 9 時まで

② サッカー・ラグビー場

ア 天然芝グラウンド 火、水曜日 5月～8月 午後3時から午後7時まで
 4月、9月 午後2時から午後6時まで
 10月～3月 午後1時から午後5時まで
 土、日曜日 午前9時から午後5時まで

※ 天然芝グラウンドの利用時間については、1日原則4時間

イ 人工芝グラウンド及び管理棟 午前9時から午後9時まで

(4) 休館日

毎週月曜日、年末年始（12月29日～1月3日）

(5) 管理運営

佐賀市で指定管理者制度を導入した最初の施設であり、現在は4期目の指定期間（2019～2023）を迎えている。指定管理者は運動指導や施設管理に関して専門的な能力を有するサガン・ドリームス／健康科学研究所／古賀商事グループを指定し、施設の管理運営の全般を任せている。

(6) 有料エリアの利用実績

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
営業日数	309	310	310	310	300
幼児	6,329	6,717	6,902	6,627	6,447
小中学生	15,046	14,790	14,255	13,728	13,348
大人	79,456	79,673	78,200	72,855	71,063
65歳以上	64,334	69,257	73,224	73,776	70,418
しょうがい者・介助者	22,248	22,986	22,277	22,047	22,509
総利用者	187,413	193,423	194,858	189,033	183,785

※ 有料エリアは、プール、トレーニング室、スタジオ等の個人の利用料金が設定されたエリア

(7) 多目的グラウンドの利用実績

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	722	723	638	640	604
人数	34,889	46,648	33,391	34,808	32,824

(8) 多目的室の利用実績

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	160	167	201	147	108
人数	1,540	1,742	2,356	2,036	2,198

(9) サッカー・ラグビー場（人工芝、天然芝）の利用実績

施設名	平成 30 年度		令和元年度	
	件数	人数	件数	人数
人工芝グラウンド	571	53,528	543	46,094
天然芝グラウンド	116	15,218	104	11,078

※天然芝グラウンドは平成 26 年 8 月から供用開始